

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	リビオタワー小田急相模原	階数	地上20F
建設地	神奈川県座間市相模が丘1丁目293番	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	513 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	学校、物販店、集合住宅、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年1月 予定	評価の実施日	2016年8月1日
敷地面積	2,700 m ²	作成者	(株)長谷エコーポレーション
建築面積	1,634 m ²	確認日	2014年8月2日
延床面積	15,073 m ²	確認者	(株)長谷エコーポレーション



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.3 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 66%
③上記+②以外の 66%
④上記+ 66%

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.8

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

3 設計上の配慮事項		その他
総合 緑化計画や屋上緑化を行ない、地域緑化へ貢献できる建物を目指す。また、店舗や屋外広場によってにぎわいを創出し、駅前に相応しい建物となるよう努めた。		0
Q1 室内環境 ・断熱等性能等級3相当。 ・住戸には庇 (バルコニー) 及びカーテンレールを設置。 ・F☆☆☆☆・VOCの放出が極めて少ない部材を採用。	Q2 サービス性能 ・共用部維持管理対策等級2、劣化対策等級3取得予定。	Q3 室外環境 (敷地内) ・自治体の景観計画に適合した彩色とした。
LR1 エネルギー ・断熱等性能等級3相当を確保することで建物の熱負荷の抑制に努める。	LR2 資源・マテリアル ・環境負荷の抑制を促進し、地球環境負荷の低減を図る。	LR3 敷地外環境 ・ライフサイクルCO ₂ 削減に配慮する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される